ご一緒します、いい人生

RESORTTRUST GROUP

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	リゾートトラスト株式会社	上場取引所	東・名
コ ー ド 番 号	4681	URL	https://www.resorttrust.co.jp
代　　表　　者	（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO	（氏名）伏見　有貴	
問合せ先責任者	（役職名）専務執行役員 業務部門管掌 兼CCO	（氏名）井内　克之	（TEL）(052)933-6519
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月14日

決算補足説明資料作成の有無　　：有

決算説明会開催の有無　　：有　　（　機関投資家・アナリスト向けＩＲ電話会議　　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	123,886	11.7	16,304	31.3	16,196	30.1	11,378	32.0
2026年３月期中間期	110,950	3.0	12,415	8.6	12,449	8.1	8,620	14.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　11,233百万円（　55.6%）　2026年３月期中間期　7,219百万円（△11.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	53.56	―
2026年３月期中間期	40.67	―

潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	558,599	174,575	30.1
2026年３月期	525,309	166,683	30.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　168,001百万円　　2026年３月期　160,253百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	17.00	―	17.00	34.00
2027年３月期	―	18.00			
2027年３月期(予想)			―	19.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	259,000	△1.5	32,000	9.7	31,500	7.6	21,600	3.3	101.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	217,041,598株	2026年３月期	217,041,598株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	4,347,987株	2026年３月期	4,691,905株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	212,469,228株	2026年３月期中間期	211,948,086株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページをご覧ください。

・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ（投資家情報－ＩＲ資料）に「決算説明資料」を掲載いたします。（https://www.resorttrust.co.jp/ir/）

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 9
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記） ……12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……12
（セグメント情報等） ……12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

①当中間連結会計期間の概況

	前中間 連結会計期間 （実績）	当中間 連結会計期間 （実績）	当中間 連結会計期間 （計画）	前年同期比	計画比
売　上　高	110,950百万円	123,886百万円	119,600百万円	+11.7%	+3.6%
営 業 利 益	12,415百万円	16,304百万円	12,900百万円	+31.3%	+26.4%
経 常 利 益	12,449百万円	16,196百万円	12,900百万円	+30.1%	+25.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	8,620百万円	11,378百万円	8,900百万円	+32.0%	+27.9%

（参考） 評価 営業利益	19,134百万円	22,200百万円	18,400百万円	+16.0%	+20.7%

〔前年同期比〕

前年同期（2025年4月～9月）には、会員権事業において、「サンクチュアリコート金沢」、「サンクチュアリコート淡路島」を中心に、未開業ホテル会員権の販売が好調でありました。当期間（2026年4月～9月）では、既存ホテルの会員権販売が集中したことで、会計上の収益性が向上したことに加え、2026年6月から「サンクチュアリコート外房雀島」の会員募集を開始したこともあり、その新規発売効果も後押しし、前年同期を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、ハイメディック会員の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、ホテルレストラン等事業において、前期に開業したホテルの収益貢献に加え、価格改定などによる消費単価の上昇などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加等のコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、中間連結会計期間としては過去最高の売上高、営業利益を更新し「増収増益」となりました。実力値を示す「評価営業利益（利益成長率目標10%）」も+16.0%と大きく進展しました。

〔計画比〕

※「計画」は、2026年5月15日付の業績予想に基づきます。なお、本日付で業績予想、配当予想を上方修正しております。

計画に対しては、会員権事業において、会員募集が好調に推移し、契約高が当初計画を上回りました。ホテルレストラン等事業においては、天候不順の影響もあり、ホテル稼働率は想定を下回りました。メディカル事業においては、検診事業の会員募集や一般健診事業、サプリ販売などウェルビーイングプロダクト事業、シニアライフ事業等が想定を上回りました。特に、会員募集の好調が継続している業績を背景に、社員への還元、株主への還元を拡大することを決定しております。

（参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。）

〔全体概況〕

当中間連結会計期間における、当社グループの状況は、前年度に引き続き、建築コストの上昇に対応するため、一部の商品（会員権）の価格を見直すことや、ＤＸ経営の推進、人的資本経営の推進による「生産性の向上」により各セグメントにおいて収益性の向上を目指しております。会員募集については、好調が継続しており、2026年6月には新規ホテルの会員募集を開始しました。ホテル会員数、メディカル会員数の増加に伴う増収や2026年2月に開業した「サンクチュアリコート日光」の通期稼働、前年度実施した価格改定等が増収に寄与しております。

この結果として、売上高は123,886百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は16,304百万円（前年同期比31.3%増）、経常利益は16,196百万円（前年同期比30.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は11,378百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前中間連結会計期間（実績）	当中間連結会計期間（実績）	前年同期比
売　上　高	28,018百万円	36,099百万円	+28.8%
セグメント利益	9,624百万円	13,351百万円	+38.7%

会員権事業におきましては、「契約高」は最高記録を更新しております。会員権販売が好調に推移したことに加え、2026年6月には「サンクチュアリコート外房雀島」の会員募集を開始しました。前年同期に比べて、既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まったことなどにより、増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前中間連結会計期間（実績）	当中間連結会計期間（実績）	前年同期比
売　上　高	55,264百万円	57,662百万円	+4.3%
セグメント利益	3,555百万円	3,658百万円	+2.9%

ホテルレストラン等事業におきましては、2026年2月に開業した「サンクチュアリコート日光」の稼働が増収に寄与したことに加え、前年度に一部の施設で行った室料の価格改定や「賃上げと生産性向上の好循環」などにより、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前中間連結会計期間（実績）	当中間連結会計期間（実績）	前年同期比
売　上　高	27,313百万円	29,733百万円	+8.9%
セグメント利益	3,982百万円	4,864百万円	+22.1%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が順調に推移し、ハイメディック事業で会員の増加に伴う年会費収入等が増加したこと、一般健診事業の事業拡大や、ウェルビーイングプロダクト事業、シニアライフ事業の成長などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前中間連結会計期間（実績）	当中間連結会計期間（実績）	前年同期比
売　上　高	353百万円	390百万円	+10.6%
セグメント利益	337百万円	374百万円	+10.8%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

（２）当中間期の財政状態の概況

中間連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は558,599百万円（前連結会計年度比6.3%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員制ホテルの新規開発に伴い仕掛販売用不動産が 19,668百万円、建設仮勘定が 11,499百万円 それぞれ増加したことなどによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は384,024百万円(前連結会計年度比7.1%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が 13,274百万円、償却型

預り保証金が 10,110百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は174,575百万円（前連結会計年度比4.7%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が 7,696百万円 増加したことなどによるものであります。

その結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は30.1%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。

本日（2026年11月13日）に開示した業績予想は以下の通りです。

2027年３月期　通期連結業績予想数値（2026年４月１日～2027年３月31日）

	前連結会計年度（実績）	当連結会計年度（計画）	増減比	当連結会計年度（前回予想）
売　上　高	263,020百万円	259,000百万円	△1.5%	255,000百万円
営 業 利 益	29,161百万円	32,000百万円	+9.7%	31,000百万円
経 常 利 益	29,281百万円	31,500百万円	+7.6%	30,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	20,912百万円	21,600百万円	+3.3%	21,000百万円

評価 営業利益	32,804百万円	39,700百万円	+21.0%	36,500百万円

連結会計年度（2027年3月期）の経済環境につきましては、国内需要の底堅さやインバウンドの回復が継続する一方で、物価上昇や慢性的な人手不足、建設資材の高止まりといったコスト面での課題は引き続き注視すべき状況が想定されます。しかしながら、前期において過去最高の業績を達成した強固な事業基盤と、ＤＸ推進による「生産性向上と賃上げの好循環」は、当期においても当社グループの力強い推進力となります。

このような状況下、当期の見通しについては、会員権事業において、2026年6月に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート外房雀島」の会員募集を開始しているほか、2027年３月（予定）に「サンクチュアリコート八ヶ岳」が開業を迎えることで、それまで繰延べられている不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数、登録数、関係顧客の増加と、高付加価値な新サービスの開発と提供による単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高 259,000百万円（前年同期比 1.5%減）、営業利益 32,000百万円（同 9.7%増）、経常利益 31,500百万円（同 7.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、21,600百万円（同 3.3%増）と減収増益を見込んでおります。売上高の減収については、開業するホテルの物件規模の影響であり、実力ベースにおいては、過去最高を更新し、増収増益の評価を見込んでおります。

配当予想については、新たな中期経営計画における還元方針は、2025年度～2027年度の３年間累計で、機動的な株主還元も含めた、安定的な還元を目指しています。その方針に基づき、当期配当金予想については、前年の年間配当金の合計は34円と過去最高でありましたが、第２四半期末配当金（中間配当金）を18円とし、期末配当金（予想）の19円と合わせて、前年同期に比べ３円増配の年間配当金37円（予想）と、過去最高を更新する配当金額となる見込みであります。

※なお、本日付で「業績予想、配当予想の上方修正」を行っております。当初の想定よりも、特に会員権販売が好調であり、上半期の当初予想を上回る実績であったため、通期業績予想を上方修正し、また、配当予想についても、期末配当金を18円（予想）から１円増配の19円（予想）と増配修正を行いました。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,010	30,456
受取手形、売掛金及び契約資産	12,745	13,793
割賦売掛金	106,843	111,496
営業貸付金	9,830	7,931
有価証券	13,054	6,627
商品	1,448	1,672
販売用不動産	5,558	3,200
原材料及び貯蔵品	2,167	2,248
仕掛販売用不動産	12,733	32,401
リース投資資産	2,868	3,497
その他	7,310	9,592
貸倒引当金	△932	△955
流動資産合計	206,639	221,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	110,540	114,310
機械装置及び運搬具（純額）	2,773	2,459
コース勘定	7,918	7,937
土地	51,396	51,605
リース資産（純額）	4,531	5,360
使用権資産	12,332	12,672
建設仮勘定	18,760	30,260
その他（純額）	5,326	5,723
有形固定資産合計	213,581	230,330
無形固定資産		
のれん	94	137
ソフトウエア	2,659	2,486
その他	3,317	3,459
無形固定資産合計	6,071	6,083
投資その他の資産		
投資有価証券	42,933	43,468
関係会社株式	1,410	1,446
長期貸付金	4,192	3,811
退職給付に係る資産	2,856	2,872
繰延税金資産	22,057	23,101
その他	25,984	25,938
貸倒引当金	△418	△416
投資その他の資産合計	99,017	100,222
固定資産合計	318,670	336,637
資産合計	525,309	558,599

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,091	1,863
短期借入金	3,614	13,263
1年内返済予定の長期借入金	654	596
リース債務	1,543	1,703
未払金	18,100	13,202
未払法人税等	5,676	6,748
未払消費税等	2,807	2,359
前受金	107,803	121,077
前受収益	17,392	12,110
債務保証損失引当金	16	13
ポイント引当金	445	506
その他	12,649	12,259
流動負債合計	172,796	185,703
固定負債		
長期借入金	1,876	1,607
リース債務	23,222	24,838
繰延税金負債	68	－
役員退職慰労引当金	225	247
株式給付引当金	1,986	3,501
退職給付に係る負債	2,986	3,144
長期預り保証金	28,232	27,636
償却型長期預り保証金	121,453	131,564
その他	5,777	5,779
固定負債合計	185,829	198,321
負債合計	358,625	384,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	24,087	24,160
利益剰余金	111,899	119,596
自己株式	△6,774	△6,326
株主資本合計	148,803	157,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,702	2,604
為替換算調整勘定	5,638	6,535
退職給付に係る調整累計額	2,109	1,841
その他の包括利益累計額合計	11,450	10,981
非支配株主持分	6,429	6,573
純資産合計	166,683	174,575
負債純資産合計	525,309	558,599

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	110,950	123,886
売上原価	12,435	16,305
売上総利益	98,514	107,580
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	34,959	37,954
役員退職慰労引当金繰入額	0	22
修繕維持費	3,085	3,503
貸倒引当金繰入額	58	24
債務保証損失引当金繰入額	△5	△3
水道光熱費	4,101	4,309
減価償却費	4,451	4,624
その他	39,446	40,840
販売費及び一般管理費合計	86,098	91,275
営業利益	12,415	16,304
営業外収益		
受取利息	435	535
受取配当金	68	109
持分法による投資利益	9	5
貸倒引当金戻入額	1	1
為替差益	5	1
助成金収入	28	73
その他	136	169
営業外収益合計	685	896
営業外費用		
支払利息及び社債利息	245	285
シンジケートローン手数料	23	21
控除対象外消費税等	223	338
その他	159	359
営業外費用合計	651	1,005
経常利益	12,449	16,196

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
特別利益		
固定資産売却益	17	16
関係会社株式売却益	4	－
投資有価証券売却益	34	112
有価証券償還益	516	1,081
その他	－	0
特別利益合計	573	1,211
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	19	31
その他	2	－
特別損失合計	24	33
税金等調整前中間純利益	12,998	17,373
法人税、住民税及び事業税	4,445	6,154
法人税等調整額	△227	△483
法人税等合計	4,218	5,671
中間純利益	8,780	11,702
非支配株主に帰属する中間純利益	159	323
親会社株主に帰属する中間純利益	8,620	11,378

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	8,780	11,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	398	△1,098
為替換算調整勘定	△1,792	897
退職給付に係る調整額	△167	△268
その他の包括利益合計	△1,561	△469
中間包括利益	7,219	11,233
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	7,059	10,909
非支配株主に係る中間包括利益	159	323

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,998	17,373
減価償却費	5,068	5,283
のれん償却額	215	10
貸倒引当金の増減額（△は減少）	55	21
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△42	△277
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	0	22
受取利息及び受取配当金	△503	△645
支払利息及び社債利息	245	285
為替差損益（△は益）	14	△1
固定資産売却損益（△は益）	△15	△14
売上債権の増減額（△は増加）	△9,636	△3,792
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,264	△18,891
仕入債務の増減額（△は減少）	△198	△240
未払金の増減額（△は減少）	△355	△5,114
前受金の増減額（△は減少）	18,878	13,238
長期預り保証金の増減額（△は減少）	5,787	9,514
未払消費税等の増減額（△は減少）	△268	△532
リース投資資産の増減額（△は増加）	45	△628
その他	△7,738	△5,900
小計	21,289	9,711
利息及び配当金の受取額	447	508
利息の支払額	△171	△192
法人税等の支払額	△6,501	△5,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,063	4,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	－	300
有価証券の取得による支出	－	△993
有価証券の売却及び償還による収入	4,904	11,971
投資有価証券の取得による支出	△5,881	△5,710
投資有価証券の売却及び償還による収入	45	233
関係会社株式の取得による支出	△0	－
関係会社株式の売却による収入	7	－
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,215	△19,124
有形及び無形固定資産の売却による収入	18	19
貸付けによる支出	△87	△7
貸付金の回収による収入	237	293
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△12
その他	△869	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,140	△13,284

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,649	9,714
長期借入金の返済による支出	△327	△327
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,736	△3,682
非支配株主への配当金の支払額	△146	△180
セール・アンド・リースバックによる収入	387	1,143
その他	△637	△999
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,813	5,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	27
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,999	△2,660
現金及び現金同等物の期首残高	28,894	32,887
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,893	30,226

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,018	55,264	27,313	110,596	353	110,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	2,471	575	3,062	799	3,861
計	28,034	57,736	27,889	113,659	1,152	114,811
セグメント利益	9,624	3,555	3,982	17,162	337	17,499

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

２ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	17,162
「その他」の区分の利益	337
全社費用（注）	△5,083
中間連結損益計算書の営業利益	12,415

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	メディカル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,099	57,662	29,733	123,495	390	123,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	3,250	609	3,884	795	4,679
計	36,122	60,913	30,343	127,379	1,186	128,566
セグメント利益	13,351	3,658	4,864	21,874	374	22,248

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

２ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	21,874
「その他」の区分の利益	374
全社費用（注）	△5,943
中間連結損益計算書の営業利益	16,304

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。